

6. エコツーリズムフォーラム

第5回エコツーリズムフォーラム2016

『豊かな瀬戸内海の創生を目指したエコツーリズムの推進と役割』
～新・瀬戸内法の具現化と活力ある島々の再生に向けて～



6. エコツーリズムフォーラム

第5回 エコツーリズムフォーラム2016

Ecotourism Forum fifth 2016

～新・瀬戸内法の具現化と活力ある島々の再生に向けて～

豊かな瀬戸内海の創生を目指した エコツーリズムの推進と役割

開催日：2016年1月30日(土) 13:00-17:00 (開場12:30)

会場：リージャス ひろしまハイビル21 17階 (広島市中区銀山町3-1)

定員：100名 (事前申し込み制)

参加費：無料 (資料代1,000円/希望の方のみ申し受けます。)

<プログラム>

オープニング

開会挨拶(趣旨説明) 田中秀宜 (一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会) 事務局長
来賓挨拶 築島 明 (環境省中国四国地方環境事務所 所長)

第1部 基調講演および活動報告

テーマ：「国内外のエコツーリズムの推進と取り組み」

講演 高山 傑 (アジアエコツーリズムネットワーク(AFN) 理事長)

活動報告 上嶋英機 (瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長)

第2部 パネルディスカッション

来賓挨拶 平口 洋 (環境副大臣)

総合討論

テーマ：「豊かな瀬戸内海の創生を目指したエコツーリズムの推進と役割」

キーワード：エコツーリズム・新瀬戸内法・過疎化～無人島化・全体構想

◎コーディネーター

上嶋英機 (瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長)

○パネリスト

高山 傑 (アジアエコツーリズムネットワーク(AFN) 理事長)

梅村幸平 (広島県環境県民局環境保全課 課長)

中川幸雄 (南丹市美山エコツーリズム推進協議会 会長)

佐古建彦 (循環型農業を進める会 世話人)

クローージング

閉会挨拶 森永 智絵 (広島県環境県民局 局長)

※プログラムは変更する場合がございます。

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会(構成：広島県、呉市、廿日市市、一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会)
後援：環境省中国四国地方環境事務所、EPOちゅうごく(環境省中国環境パートナーシップオフィス)、中国経済連合会、
NPO法人 日本エコツーリズム協会、一般社団法人 日本旅行業協会、株式会社 中国新聞社、
学校法人鶴学園 広島工業大学、学校法人ひらた学園 IWAD環境福祉専門学校
協力：NPO法人 自然環境ネットワークSAREN、NPO法人 自然と釣りのネットワーク、ひろでん中国新聞旅行株式会社
日本ミクニヤ株式会社、総合技術株式会社

※フォーラム終了後、交流会を開催いたします！

是非、ご参加ください！(17:30-19:00 参加費3,000円)

※会場までのアクセス、お申込方法、お問合せは裏面をご覧ください。

※このフォーラムは、環境省平成27年度エコツーリズム地域活性化支援事業の一環として、運営しております。

日時：平成28年1月30日
13:00～17:00

場所：リージャス
ひろしまハイビル21

参加費：無料

参加人数：95名 (関係者含む)



6. エコツーリズムフォーラム

主 催

瀬戸内ツーリズム推進協議会

構成：広島県・呉市・廿日市市・（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会

後 援

環境省中国四国地方環境事務所／EPOちゅうごく（環境省中国環境パートナーシップオフィス）／中国経済連合会／NPO法人日本エコツーリズム協会／一般社団法人日本旅行業協会／中国新聞社／学校法人鶴学園広島工業大学／学校法人ひらた学園 I W A D 環境福祉専門学校

協 力

NPO法人自然環境ネットワークSAREN／NPO法人自然と釣りのネットワーク／日本ミクニヤ株式会社／総合技研株式会社／ひろでん中国新聞旅行株式会社



6. エコツーリズムフォーラム

瀬戸内海の自然・文化・歴史... 守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守ることを理念として、エコツアーの構築・実践を行うことで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指しています。瀬戸内海では昨年9月に瀬戸内法が改正され、「豊かな瀬戸内海」を目指して生態系の保全と、美しい景観の保全に向けた取り組みを行う事が定められ、自然景観と文化的景観の保全のため「エコツーリズムの推進」が明記されました。一方、瀬戸内海の島嶼部は限界を超えた「超過疎化」に陥り、無人島化が進んでいます。このため、歴史や伝統文化が消滅し、自然環境の管理も不可能となっています。

そこで、「第5回エコツーリズムフォーラム2016」では新瀬戸内法の趣旨に則り、エコツーリズムの推進によって、瀬戸内海の自然景観や文化的景観を支えている環境資源を守り活用するため、人材投入と新観光産業により島嶼部の地域活性化を促進して無人島化を防ぎ、「豊かな瀬戸内海」に向けた取り組みが可能となるように、エコツーリズムの戦略と役割について考えていきたいと思います。



Program

13:00



13:10

■オープニング

開会挨拶(趣旨説明) 田中 秀宜 一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会 事務局長
来賓挨拶 築島 明 環境省 中国四国地方環境事務所 所長

13:10



14:40

■第1部 基調講演および活動報告

基調講演 「国内外のエコツーリズムの推進と取り組み」
高山 傑 アジアエコツーリズムネットワーク(AEN) 理事長
活動報告 「平成27年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」
上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

15:00



16:50

■第2部 パネルディスカッション

来賓挨拶 平口 洋 環境副大臣
総合討論 「豊かな瀬戸内海の創生を目指したエコツーリズムの推進と役割」
コーディネーター 上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
パネリスト 高山 傑 アジアエコツーリズムネットワーク(AEN) 理事長
梅村 幸平 広島県環境県民局環境保全課 課長
中川 幸雄 南丹市美山エコツーリズム推進協議会 会長
佐古 建彦 循環型農業を進める会 世話人

16:50



17:00

■クローゼイング

閉会挨拶 森永 智絵 広島県環境県民局 局長

17:00



17:05

■記念撮影

17:30



19:00

■交流会

(注:フォーラム終了後、交流会を開催いたします! (場所:レガロホテル広島1F) 是非、ご参加ください!(参加費3,000円)

Profile



高山 傑 Takayama Masaru アジアエコツーリズムネットワーク(AEN) 理事長
株式会社スピリット・オブ・シオバノ・トラベル 代表取締役
1969年京都市生まれ、カリフォルニア州立大学海洋学部卒。約60か国700都市を訪問して構築した国際ネットワークを活用し、アジアにおけるエコツーリズム国際基準の策定と訪日外国人向けのエコラジオリーズーツーを日本各地で展開。世界旅行ツーリズム協議会(WTTC) 明日へのツーリズム百評議員、ナショナルジオグラフィック・ワールドレジャー百最終審査員、国連10YFIPサステイナブルツーリズム諮問委員、NPO法人エコラジ協議会代表理事他、国内外で活躍中。登録有形文化財「春福荘」オーナー兼ヘリテージマネジャー。



梅村 幸平 Umemura Kouhei 広島県環境県民局 環境保全課 課長
1959年岡山県生まれ、1964年から広島県育ち。1982年広島県入職。水質保全対策、大気保全対策、騒音振動対策、化学物質対策、温暖化対策、産業廃棄物対策など、一貫して環境行政に携わる。2015年から現職。現在、「美しく豊かな瀬戸内海の実現」を基本理念に掲げ、泉の瀬戸内海環境保全計画の変更を行っている。江田島在住30年。広島ヘリテージで活動。週末はカンヅクリ、宮島の香紙寮にちなんだ伝統行事「おかげんさんまつり」を運営するなど、島に溶け込んだ生活を楽しまれている。



中川 幸雄 Nakagawa Yukio 南丹市美山エコツーリズム推進協議会 会長
1949年京都府南丹市美山町生まれ。京都産業大学卒業後、旧美山町役場入職。政研審議室長、美山町自然文化村館長(都市と農村交流のための町直営施設)、事業参事などを歴任。2005年に旧美山町役場を退職したのち、財団法人美山町自然文化村副理事長、美山ふるさと株式会社業務を経て、現在は南丹市美山エコツーリズム推進協議会会長、美山町観光協会副会長、美山まちづくり委員会委員長、美山ふるさと株式会社顧問として様々な観点からふるさと美山の地域振興・観光振興に取り組み活動を展開している。



佐古 建彦 Sako Tatehiko 循環型農業を進める会 世話人
1944年7月山口県豊田町生まれ。岩国高学・中央大学海洋学部卒。地元企業の企業「養魚」に就職。1969年から伊藤忠商事に出入り、1970年に専任業務を担当し、2009年退社。その間に五大湖6ヶ所を基盤に、1975年にレイチェル・カーソンの『沈黙の春』を読み環境問題と、瀬戸内海の「赤潮」問題に熱心を持ち環境ホルモンを独学で学ぶ。1995年中国上海市の要請で有機栽培農業に投資企業として参入(施設有建設)。2008年神職の資格を取り、放牧農園に携り宇津神社の宮司に就任。今までの経験を活かして環境に優しい「循環型農業を進める会」を立ち上げ、瀬川流域有機栽培農業に切り替え、機田・里山の大切さを訴え、美しい自然を守り、観光立国「岩国」の為に走り回っている。特に「社員」の活性化と林業・農業・漁業の連携を図り瀬戸内海の浄化活動をしている。



上嶋 英機 Ueshima Hideki 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
1944年福井県敦賀市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所(現、産業技術総合研究所)以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授に就任。2015年退職後、客員教授に就任。2010年、「一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体に、「一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア」理事長、「宮島ラマルセール連絡協議会」会長など。

【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

- 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築事業
事業化の促進を図るため、エコツアーの本格的実施を行っています。
・宮島エコツアー(外国人旅行者向け・国内旅行者向け)
・安芸灘諸島エコツアー
・防予諸島エコツアー
- エコツーリズムのための人材育成事業
人材の養成研修「エコ塾」の充実図るため、養成研修の実践的運用をおこなっています。
- エコツーリズムのためのインフラ整備計画事業
エコツーリズムのためのインフラ整備について、検討・提案を行っています。
・エコツーリズムピクニックセンターの機能提案
・未利用施設の活用による地域振興策の提案
・ネットワークの構築のためのインフラ整備提案
- エコツーリズム・フォーラムの開催
- エコツーリズム推進全体構想の申請に向けた取り組み



当日配布のパンフレット

6. エコツーリズムフォーラム

来賓挨拶



築島 明（環境省中国四国地方環境事務所 所長）



森永 智絵（広島県環境県民局 局長）



平口 洋（衆議院議員・環境副大臣）



6. エコツーリズムフォーラム

第1部 「国内外のエコツーリズムの推進と取り組み」



「国際基準に準ずるエコツーリズムの実践と運用改善～アジアからの提案～」

高山 傑 (アジアエコツーリズムネットワーク (AEN) 理事長)



「平成27年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」

上嶋 英機 (瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長)



6. エコツーリズムフォーラム

第2部「パネルディスカッション」

「豊かな瀬戸内海の創生を目指したエコツーリズムの推進と役割」

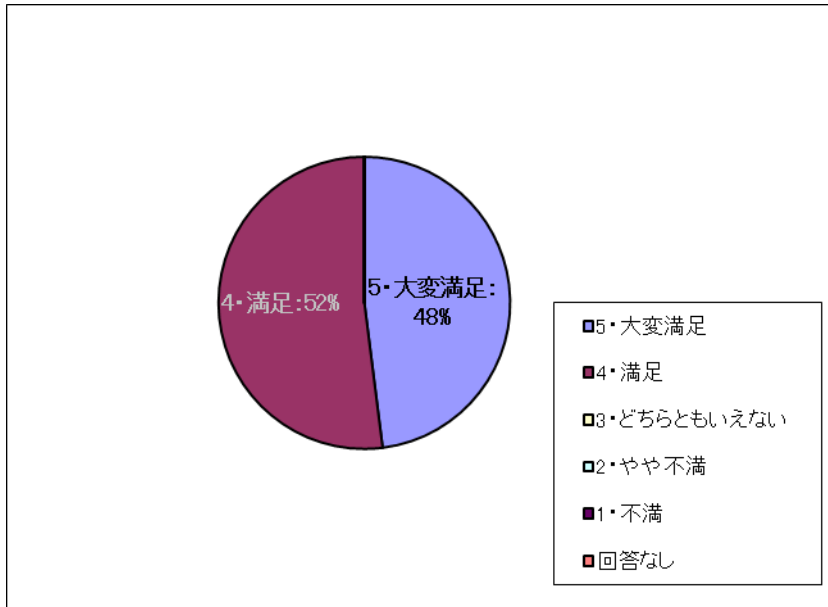


コーディネーター 上嶋 英機（瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長）
パネラー 高山 傑（アジアエコツーリズムネットワーク (AEN) 理事長）
梅村 幸平（広島県環境県民局環境保全課 課長）
中川 幸雄（南丹市美山エコツーリズム推進協議会 会長）
佐古 建彦（循環型農業を進める会 世話人）

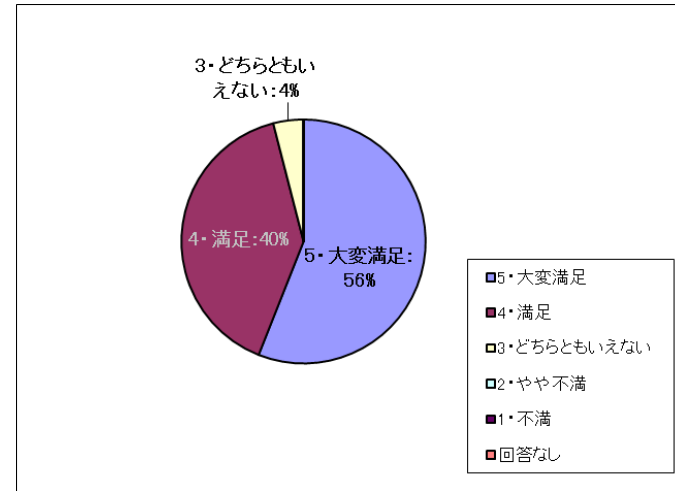


参加者の声

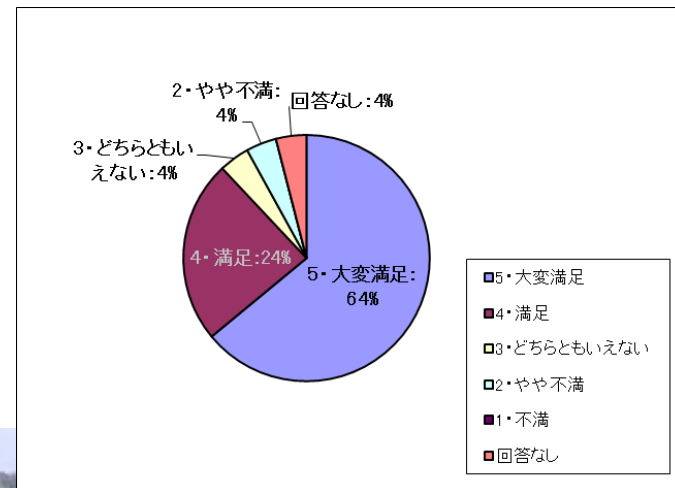
総合評価



第1部



第2部



アンケートに答えて頂いた全員に満足頂いた。

6. エコツーリズムフォーラム



参加者の声 (アンケートの回答より抜粋)

良かった点

- 様々な立場の方がそれぞれの思いで頑張っていることに感銘を受けた。
- 瀬戸内という、広い範囲での取り組みは、とても心強く思った。
- いろいろな状況、立場、取り組みの方々の話があり、参考になった。
- 佐古さんの「柱島プロジェクト」は、竹林の多い周防大島（故郷）で竹の再活用に取り組んでいる方もいらっしゃるので紹介したい。
- エコツーリズムにも国際基準がある等、国外の情報等を知ることができた。
- パネラーの方々の現在の取り組みへの熱い思いが伝わってきた。
- エコツーリズムの難しさ、おもしろさ、人と人との結びつき力の大切さが分かった。
- 世界の動き（視点）の一端を聞いてよかった。
- 今後の発展を期待する。つながるパネリストの方が多く、励みになった。
- 今まで知らなかったコアな知識を得られたこと。
- 現在うまくいっている点、問題となっている点が非常に分かりやすく、ためになった。
- パネラーが豊富で多彩な顔ぶれで色々な話が聞いてよかった。
- 国際的視点あり、県外（関西）の事例あり、近隣の情報ありと、参考になり勉強にもなり、有意義な時間だった。

6. エコツアーリズムフォーラム



参加者の声 (アンケートの回答より抜粋)

改善してほしい点

- 事例発表の時間が少ない。
- 室内が暖かすぎた。
- パネルディスカッションが質疑応答で終わってしまったこと。
- スライドが暗い。パワーポイントが見にくい。
- 音響があればよかった。
- 駆け足で進むことが多かったこと。
- 時間がつまりすぎていると感じた。
- もう少し休憩時間を増やしてほしい。



6. エコツーリズムフォーラム



参加者の声 (アンケートの回答より抜粋)

その他

- 上嶋先生のエコツーリズムツアーは、先進的（レベルが高い、効果大、きめ細かい対応）なやり方なので、全国に発進してほしい。
- 裾野を広げて、会員を増やすためにも、エコ塾などしてほしい。
- エコツーリズム＝農林活性化のような印象を受けた。
- 日本のエコツアーが日本人にどこまで受け入れられるかが心配。
- 島に人が多く来ても、そこに住んでももらえないとダメなので、そこをどう思っているかが知りたい。
- 協議会でエコツーリズム資格を作るべき。
- 生物多様性の観点をもっと入れるべき。
- 島嶼部の他に、沿岸部についても情報発信してもらいたい。
- 人材育成について。
- ごみ清掃について、その運搬処理について費用等を教えてほしい。またイベント等の際に回収する人の他に、運搬、処理の人の集め方を教えてほしい。

